

おいでよ！

なり ひら みち 業平道

ありわらのなりひら

在原業平が高安の河内姫のところに行くときに通った「業平道」。これは諸説ありますが、かわちのくにおおがたくん河内国大県郡を通った道であったともいわれています。その道をたどり、往時の恋模様想像を巡らせてみてはいかがでしょうか。

※業平道は“業平伝説”に登場する生駒の山裾を通る道であり、あくまでもイメージ上のルートです。

※階段を通るところもあるため、徒歩でお越しください。

⑫ 瑠璃光寺

752年に行基が開基したといわれる。本堂には平安初期の作とみられる四天王像(火災で一部焼失)がある。



⑪ 若倭彦神社

平野地区にあり、若倭彦命を祀る式内社。



⑩ 鐺比古鐺比売神社 WC

1577年に織田信忠が松永久秀を討つ拠点とした場所で、攻略後、新地50石と灯笼一對を寄進した式内社。

⑨ 業平公園

業平道に面した小さな公園。業平の詠んだ「ちはやぶる～」の歌が彫られた碑がある。



業平道はわかりにくい？

とても細い道を通ることが数多くあるのが業平道。高井田・安堂駅方面から歩いたときの目印を写真付きで紹介しますので、参考にどうぞ。



そもそも在原業平って？

平安時代初期の歌人、六歌仙および三十六歌仙の1人。小倉百人一首(古今和歌集5-294)の「ちはやぶる 神代もきかず 竜田川 からくれなゐに 水くゝるとは」の歌は業平の作。とても男前で、1人の男性の数々の恋愛遍歴を描いた「伊勢物語」の主人公(のモデル)であるとみられている。

②歴史資料館 WC

文化財等を展示する資料館。学芸員による業平道の解説も随時可。月曜休館。



①史跡高井田横穴公園 WC

150基を超える横穴墓が点在する広大な公園。「ゴンドラに乗る人物」の線刻壁画が有る。

③サンヒル柏原 WC

小高い丘の上に建つ宿泊施設。柏原の特産品が買える売店や喫茶も併設。



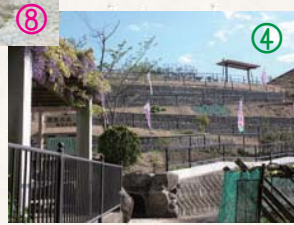
道標もちよこっとあるよ



太平寺地区

- 歴史のロマンとぶどうの香るまち -

大阪ミュージアム構想の一環として「石畳と淡い街灯まちづくり」のモデル地区に指定、道標や家並みの景観を損ねない路面舗装などさまざまな整備が行われた地区。この地区にあった「智識寺」の盧舎那仏を見て、聖武天皇が東大寺の大仏の造立を発願したといわれる。(智識寺は1086年に倒壊)



④歴史の丘展望台公園 WC

石神社に隣接した、地域の方と市が協働で整備した公園。冬はスイセンが美しい。休憩に最適。

⑤石神社

智識寺の塔心礎(府指定有形文化財)と樹齢800年以上とみられるクス(府指定天然記念物)がある。業平道はこの境内を通っていく。

⑥清浄泉

その昔、弘法大師が井戸を掘り起こして干ばつから救ったとの言い伝えがある。1983年、大阪府の史跡に指定。(※現在も水は汲めるが、生水の飲用は不可)

⑦観音寺

智識寺のものであったとされる経机が伝わっており、観音寺自体も智識寺の境内にあったとみられる。展望台が整備され、天気が良ければあべのハルカスも見える。

⑧せせらぎ水路

脇の水路がきれいに整備されたぶどう畑の中の小道。灯籠風の照明が幻想的。きつい坂道に注意。